

七小校長室便り

開校50周年

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.4 令和4年(2022年)8月30日

昨日は、2学期の始業式を行いました。

昨日の朝、8時20分から、2学期の始まりである始業式をオンラインで行いました。各学年とも、充実した夏休みを過ごしたであろう子供たちが元気に登校し、各教室でしっかりと話を聞いていました。

また、昨日は、教育委員会からの夏休み明けのコロナウイルス感染症対策についてのお知らせもあり、改めて子供たちには、安全で安心な日々の取組として、「あい・て・ます・か」等の感染症対策の徹底について、校長の話に入れて伝えました。保護者の皆様には、昨日、子供たちを通じてお手紙を配布させていただきました。ご一読いただき、よりよい日常生活と学校生活となりますよう、ご協力の程、よろしく願いいたします。

私たち教職員においても、感染症対策を徹底するとともに、日々の教育活動において工夫と智慧を活かしながら、進めてまいります。

子供たちの安全と安心の日々となるよう、保護者・地域・学校の三者が密接に連携した取組を進めてまいりたいと思います。今学期も何卒、よろしく願いいたします。



開校50周年記念行事の取組を本格的に進めています。

令和5年2月24日(金)に開催予定の開校50周年記念式典に向けた、現在の取組状況をお知らせいたします。

○式典当日に配布する記念誌について

P T Aの特設委員会である50周年記念事業実行委員会の皆様にご協力をいただきながら、製作段階の打合せや業者との完成までの見通しの下に、記念誌の作成を進める段階に入っております。今後、記念誌における祝辞の作成等について、代表の方にお問い合わせをすることもありますので、何卒、ご協力の程、お願いいたします。

○50周年記念マスコットキャラクターについて

近日中に発表予定です。とても可愛らしい、現代社会にマッチしたジェンダーレスなキャラクターです。学校便りや校長室便り、ホームページ等にも活用して、発信していく予定です。P T Aだより等のお手紙にも活用いただけたら、幸いです。

○開校記念に伴う備品の購入について

現在、市から配当された備品費を活用して、開校記念の備品の購入を検討中です。大きな物としては、開校記念のネーミングを入れたテント等を検討中です。具体的な物が決定いたしましたら、お知らせをいたします。

○2月24日(金)の記念式典について

教育委員会とは、現在、当日の具体的な参列者の人数や内容等の確認を行うところです。

コロナウイルス感染症対策の下に実施することになりますので、これまでの式典の内容や取組とは、大きく異なることもあります。当日の人数制限も考えられますので、招待者や参列いただく方については、入学式や卒業式のように社会情勢を鑑みながら決定してまいりますので、ご理解の程、よろしく願いいたします。

○2月22日(水)の児童によるお祝いの会について

2月24日(金)の記念式典には、全校児童は、参加できません。そこで、全校児童によるお祝いの会を現在2月22日(水)に開催することにしてあります。内容等は、これからになりますが、全校児童が関わる大きなお祝いの会として、実施してまいりたいと思います。詳細については、また、お知らせをしてまいりますので、お待ちください。

また、2月24日(金)については、児童代表として、高学年を中心とした参加となると思いますが、感染症対策に伴う人数制限や会場のレイアウト等により、参加学年を決定していくことになります。こちらについても、決定次第、お知らせをまいります。

以上のように、開校50周年記念式典に向けて、この時に居合わせた不思議な縁や絆を大切に、記念行事や取組を展開してまいります。ご理解とご協力、ご支援の程、よろしく願いいたします。

5年生の野外体験教室から。

夏休み中の8月17日(水)・18日(木)の2日間で、5年生は、当初の予定通りに、八ヶ岳野外体験教室を実施いたしました。宿泊先は、板橋区立八ヶ岳荘という施設でした。とても新しく、周りを森林に囲まれた素晴らしい環境の中に建てられていました。

2泊3日の日光移動教室とは違い、1泊2日と一日分少ない行程ですが、5年生にとっては、初めての学校の仲間との宿泊でもあり、十分に体験的な時間となりました。

出発の日の1日目は、あいにくの天候となり、ハイキングには行けませんでした。中央高速道路を西に向かって進むにつれて、山々が高くなり、自分たちの目の前の山に雲や霧がかかるという日常的には見ることができない風景となりました。子供たちからは、「山がすごいことになってる。」などという驚きの声もありました。雨バージョンの八ヶ岳自然文化園では、プラネタリウムを見学し、八ヶ岳の空に輝く星座について学びました。また、宮沢賢治の銀河鉄道の夜を題材にした有名アニメの映像が流れ、夜空に輝く星について学ぶ時間となりました。更には、宇宙探査に関わる宇宙食や宇宙線の模型等も展示されていて、八ヶ岳の自然を活かした宇宙探査への取組について、興味や関心をもつ機会となりました。最近の話としては、視覚的には見えないブラックホールについての映像が初めて撮影・公開されましたが、実は、八ヶ岳には、国立天文台の野辺山宇宙電波観測所があり、世界で初めてブラックホールを観測したところがあります。標高が高く、星を観測するには、とても良い環境でもあり、宇宙に力を入れているところでもあります。



2日目の朝は、豪雨とっていいほどの雨が降っていましたが、滝澤牧場に着く頃には、天候も回復し、牧場での乳しぼり体験や乗馬体験等、牧場ならではの体験を十分に味わうことができました。実は、宿舎を出てから到着までの道路では、濃霧により、視界がはっきりしない程でしたが、上昇気流に流されている雲や霧の様子が見ることができ、車中ではありましたが、実際にその中に入っているような体験となりました。

五感を通した体験は、多くの文献や書物を読むよりも、大きな知識に繋がったり智恵となったりすることがあります。今回の野外体験教室は「百聞は一見に如かず」といった価値のある体験となりました。1年生から4年生の子供たちも、5年生・6年生の年に、宿泊行事を体験する機会があります。高学年に向けて、少しずつ自分の力を高めたり蓄えたりして、国立第七小学校の高学年目指して、頑張ってもらいたいと思います。

【校長のつぶやき】 この夏休みには、私の両親や兄弟と会う機会に恵まれ、久しぶりに故郷の温かさや自分のこれまでの生活を振り返る良い機会となりました。また、大学時代の合唱団との仲間と交流する機会もあり、多くの人と交流することができました。

ただ、行動制限がないといっても、感染症対策についてはしっかりと行わなければならない状況には変わりありませんでした。学校便りにも書きましたが、故郷では、マスクを着けての時間が多くありましたし、PCR検査で陰性を証明したからこそ、両親も兄弟も安心することができたというのが実際のところでした。また、大学時代の友達とは、オンラインでの交流会となりました。

外国に住んでいる仲間もいて、実際に会うというのは難しく、他の友達についても、東京以外に住んでいる人が多く、それぞれの自宅で食事をしながらの同窓会的な集まりとなりました。それに、歌好きな仲間ばかりでもあり、会えば歌がない集まりはなく、オンラインだからこそ合唱しようという話になりました。

1回目は、大学時代のそれぞれの合唱にかける思いやみんなが知らなかったこと等、当時には、なかなか話せなかったことを赤裸々に話すことができました。また、合唱団のたくさんの出来事の中で、本人しか知らないという秘密的な話もあり、みんなが一斉に驚くようなこともありました。楽しい時間というのは、あっという間でした。話しても話しても話し足りない状況に2回目を行うことになりました。その時は、やはり合唱をしようということにもなりました。

2回目に向けて、皆のテンションは高く、歌う曲決めや楽譜のデータでの送付、音取りのための音源のデータのやり取り等、本格的な練習のための交流になっていました。そして、2回目は冒頭から歌を歌おうということで、それぞれが練習をした成果をもって挑戦をしました。ご家族の観客がいる友達もいて、かなりのハイテンションで挑戦！！しかし、やはりオンライン。。。なかなか合わせるのが難しい。ハモリはすれども、ずれまくり。今回の挑戦は、次回への持ち越しとなりました。やはり人は人との交流が大きな原動力となることを実感した出来事になりました。

